

浜松市障がい者自立支援協議会調整会議会議録

1 開催日時 令和2年1月17日（金） 午前2時から午後3時35分

2 開催場所 浜松市役所 3階32会議室

3 出席状況

区自立支援連絡会名	所属	出席者氏名	
中区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所アグネス	本宮 早奈映	
	中区社会福祉課	佐藤 真輝	
東区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所だんだん	平野 明臣	
	東区社会福祉課	濱埜 剛	
西区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 まど	鈴木 宏幸	
	西区社会福祉課	安間 俊弘	
南区自立支援連絡会	障がい者相談支援センター 浜松南	後藤 翔一朗	
	南区社会福祉課	欠 席	
北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 信生	小楠 絢子	
	北区社会福祉課	梶田 和彦	
浜北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ぽるた	間木 義聡	
	浜北区社会福祉課	金原 真弓	
天竜区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 てんりゅう	今田 将晴	
	天竜区社会福祉課	内山 敦子	
オブザーバー	障がい者相談支援事業所 シグナル	尾関 ゆかり	
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	
		岸 直樹	
	障害保健福祉課	課長補佐	久保田 尚宏
		生活支援第2グループ長	柴田 多美子
	生活支援第2グループ	山内 愛美	

4 議事内容

- (1) 専門部会報告
- (2) 市協議会新体制報告
- (3) 各区連絡会の情報教報告

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援第2グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 専門部会報告

資料1を元に説明

- ・退院して地域で暮らそう部会
担当G長より資料を元に活動状況について説明

(2) 市協議会新体制報告

- ・協議会体制図を元に説明

<変更点について>

- ①委託相談は、市全体会構成員となっていたが、事務局に変更。
- ②当事者部会と企画会議は「報告」のみだったが「提案」も追加。
- ③エリア全体会の事務局を「委託相談・区社会福祉課」と記載。

<市全体会構成員の推薦等について>

- ①学識経験者：聖隷クリストファー大学
 - ②計画相談：相談員連絡会
 - ③当事者：当事者部会
 - ④教育関係：校長会
 - ⑤事業所：施設協、「わ」
- 任期は3年とする予定。

<教育関係の会議参加について>

- ・現在、教育委員会と校長会へ相談中。校長会に自立支援協議会について説明し、理解してもらう必要がある。市全体会へは校長会の代表、エリア部会には発達支援コーディネーターの出席を依頼していく予定。出席者が決まったら各区へ連絡をする。旅費の支払いについても調整中。
- ・出席していない学校への報告の仕組みは考えていく必要がある。

<専門部会について>

- ・相談支援部会は生活支援第2G、権利擁護部会は政策調整G、地域生活部会は生活支援第1Gが担当する。

<意見>

- ・各区に特別支援学校が参加しているが、特別支援学校についてはどうなるか。
⇒(事務局)調整する。

- ・地域体制強化共同支援加算について資料を元に説明

<意見>

- ・本人の同意はどのようにとるのか。⇒(事務局)口頭での同意を検討中。
- ・加算は月1回、分配できるとなっている。利用したいサービスが施策化されるまでの間、この加算を利用してサービスを利用することも考えたい。サービス事業所に対しての分配は可能か。
- ・ケース会議により専門性の高い人材を呼び、加算を人件費や交通費として分配することは可能か。
⇒(事務局)加算の分配に関しては、一度整理をしてから改めて報告する。

- ・地域生活支援拠点等の整備(緊急時対応について)

資料を元に説明

- 登録制の事業だが、現在登録は5名。基幹相談が相談支援事業所へ呼びかけをしてくれているが、区も把握しておく必要がある事業であるため、区の担当者にも概要等説明していきたい。

(3) その他

- ・各区より活動状況、来年度に向けての調整について報告

◆中区

- ・スマイルフェスタへ参加し、ヘルプマーク、中区連絡会の周知を行った。点字の名刺作りのコーナーを設けたが、関心を持ってもらえた。
- ・来年度については、中区は事業所が多いためどのようにネットワークを広げていくかが課題。学校へ参加を促すことが難しく、構成員については検討中。

◆東区

- ・構成員が固定化し、興味が薄れてきているため、やり方を検討していく必要がある。
- ・5080 ケースをどうフォローしていくのか詰めていく必要がある。
- ・来年度は、当事者や事業所をどう巻き込むか体制を検討中。自分たちの問題として考えてもらえるように偏見の部分も含めて考えていきたい。会議に出てこない人達を巻き込みたい。

◆西区

- ・事例検討会、年1回機関誌の作成、スマイルフェスタ参加、事業所見学ツアーの開催。
- ・地域資源の見直しの為、地域診断をしているところ。
- ・12月に南区と西区の合同事務局会議を開催した。3月の全体会では、大枠で体制等の報告をしたい。

◆南区

- ・3つの地区部会の合同の集まりを開催した。
- ・こども部会では、事務局だけでなく、構成員コアメンバーも企画立案に携わっている。
- ・来年度体制に向けて不安な声が多く聞かれている。3月の全体会で大枠の体制を伝える予定。

◆北区

- ・介護分野、障害分野がお互いの制度を知る取り組みをしている。
- ・教育と福祉をつなぐ顔の見える関係作りをしている。
- ・来年度から、事務局は小羊学園がメインとなって動くため、3月の全体会には一緒に参加してもらおう。

◆浜北区

- ・障がい者週間、作品展示、ケース検討会、研修会など実施。
- ・8050 ケースにどのような資源が必要なのか、包括も招いて話し合い。
- ・来年度の体制に関しては、3/6の全体会で報告予定。

◆天竜区

- ・課題検討部会において区の課題の掘り起こしをしている。
- ・マップやチラシを作って教育との連携に力を入れている。
- ・浜北区と合同事務局会議を実施。どのような機能が必要なのか共通認識が必要であると感じている。

(事務局より) 協議会のホームページの積極的活用をお願いしたい。成果物などあれば、障害保健福祉課でホームページにアップをする。

<連絡事項>

- ・次回調整会議は、3月4日10時から。